第３１期（令和７年４月～令和８年３月）

株式会社河北町べに花の里振興公社営業報告について

【収益の部】

第３１期の収益（営業外収益を含む）は、５億８，１５９万８，５００円（前期比１０６．８％）で３，７０９万８，９２６円の増額となりました。

科目別では、受託金が１３５万円の減、利用料収入が１，３２３万７，２９７円の増、売上高が１，５１９万１，８６０円の増となりました。

内訳として、受託金はひなの湯が１５０万円の減、サハトベに花が１５万円の増となりました。

利用料収入は、利用者数が伸びたひなの湯が５０２万６，４２３円の増、宿泊料金を約１，０００円値上げしたひなの宿が５６２万５，７１６円の増、一般団体によるホール利用が多かったサハトベに花が１３０万３，０１５円の増、町外の一般利用が増えた町民体育館が１４万６８７円の増、テニス利用が減少したサン・スポーツランドが１４万９，５９０円の減、町民プールは近隣プールの休館の影響などにより利用者が増え１２９万１，０４６円の増となりました。

売上高は、利用者増に比例し売店売上が伸びたひなの湯が３８６万２，６２６円の増、７月より宴会料理を値上げした湯楽亭が４５２万３１０円の増、ひなの湯から移設したアルコール類自動販売機を撤去したひなの宿は３８万７，２２８円の減、３０フェスや一般利用増に伴いサハトベに花が４８万５，５２１円の増、大きな大会等で露店販売を積極的に実施した町民体育館が９２万６，４０３円の増、アイスの売れ行きが好調だったサン・スポーツランドが２万４，６２１円の増、水着のセールが好調だった町民プールが１６万７，６５０円の増、認知度が定着してきた道の駅は３階食堂や出張露店販売が売上を大きく伸ばし５５９万１，９５７円の増となりました。

【費用の部】

費用（当期売上原価・販売費及び一般管理費・営業外費用）は５億８，０８４万８，１２１円（前期比１０５．９％）で３，２２１万７，４５１円の増額となりました。

科目別では、当期売上原価が４８９万１，３４３円の増、人件費（役員報酬・給料手当・賃金・法定福利費・福利厚生費・退職金）が１，５６３万３，７１８円の増、水道光熱費が１８１万９，８０６円の増、広告宣伝費が１５９万６，０３３円の減、使用料及び賃借料が１１６万５，９１３円の増、委託料が９７１万８，５３３円の増などとなりました。

内訳として、当期売上原価についてはひなの湯が２２３万２，９４６円の増、湯楽亭は３万３，７６９円の減、ひなの宿が２９万９，５９５円の減、サハトベに花が１８万７，７１０円の増、町民体育館が４５万６，０８６円の増、サン・スポーツランドが１万５，６５１円の増、町民プールが７万７，１１７円の増、道の駅が２２５万５，１９７円の増となりました。

人件費は、人事異動や新規採用、最低賃金値上げや残業などで、ひなの湯が１，２７１万１，８４２円の増、湯楽亭が８１万４，０１８円の減、ひなの宿が３２万４，９２６円の減、サハトベに花が２６万８，０３６円の減、町民体育館が３１９万８９０円の減、サン・スポーツランドが２８万８，５３３円の増、町民プールが５６１万５，６２８円の増、道の駅が１６１万５，５８５円の増となりました。

水道光熱費は、節水システムを更新したものの昨今の燃料価格高騰・電気料金値上げによる変動が大きく、ひなの湯が４９万６，９７４円の増、初夏から晩夏の猛暑で空調稼働経費がかさんだサハトベに花が１８４万５，１８９円の増、漏水のあった町民体育館が７５万６，９４８円の増、認知度が高まり３階食堂・１階喫茶利用が増えた道の駅が５０万６，３８１円の増となり、一方で食洗機を更新し節水効果が出た湯楽亭が３８万９，４３９円の減、稼働率に比例しひなの宿が１１４万３，０３２円の減、節水に努めた町民プールが２８万２，０４２円の減となりました。

広告宣伝費は、前年度町制施行７０周年とひなの湯２５周年のコラボ事業があったため、ひなの湯が１２３万５，０７３円の減、開館１５周年を迎えたひなの宿が１５万５００円の増、前年度の７０未来フェスと今年度の３０フェスとの差分でサハトベに花が６８万９，４１０円の減、道の駅は１８万７００円の増となりました。

使用料及び賃借料は、厨房什器を更新した湯楽亭が７５万２，７５５円の増、自前で浴衣を購入したためリネン類レンタル品目から浴衣を徐外したひなの宿が７２万５，９０１円の減、プラネタリウム番組のリース料金でサハトベに花が１２８万６，５０６円の増などとなりました。

委託料について、温泉設備機械点検業者を変更したことのほか、契約単価の増でひなの湯が５７１万６，４７８円の増、怪我療養の清掃スタッフに代わりシルバー人材へ委託したひなの宿が９５万７，１９７円の増、イベント企画制作やプラネタリウム関連でサハトベに花が２７５万４，１８７円の増、桜剪定作業と除雪費減での相殺で町民体育館が３９万１，５５９円の増、エレベーター・冷蔵庫の保守点検料などで道の駅が３５万９，３７９円の増となった一方で、除雪回数が少なかった町民プールが３２万４，６６０円の減となりました。

― 裏面へ ―

【税引前経常利益】

総じて、収益から費用を差し引いた税引前経常利益は７５万３７９円となり、法人税、住民税及び事業税１９万４，４９５円を差引いた税引き後の当期純利益は５５万5，８８４円となり、今期は黒字計上となりましたことを報告いたします。

第　３１　期

決　算　報　告　書

令和　７年　４月　１日から

令和　８年　３月３１日まで

㈱河北町べに花の里振興公社

(法人番号:3390001011995)

貸借対照表

商号　㈱河北町べに花の里振興公社

令和 8年 3月31日現在

代表者　河内　耕治

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
Ⅰ 流動資産	(141,400,478)	Ⅰ 流動負債	(75,337,465)
現金及び預金	122,691,575	買掛金	6,007,030
棚卸資産	5,401,278	未払金	29,513,652
前払費用	1,017,500	未払法人税等	142,000
未収入金	12,012,056	未払消費税等	7,508,900
立替金	278,069	前受金	28,427,856
		預り金	3,738,027
Ⅱ 固定資産	(18,129,222)	Ⅱ 固定負債	(29,848,000)
有形固定資産	(4,638,209)	長期借入金	29,848,000
建物	2		
構築物	298,025		
機械及び装置	70,957		
車両運搬具	4		
工具、器具及び備品	4,269,221		
無形固定資産	(634,583)		
ソフトウェア	634,583		
		負債の部合計	105,185,465
		（純資産の部）	
		Ⅰ 株主資本	(55,332,871)
		1. 資本金	10,000,000
投資その他の資産	(12,856,430)	2. 資本剰余金	(0)
投資有価証券	1,010,000		
預け金	11,846,430		
		3. 利益剰余金	(45,332,871)
		(1)利益準備金	100,000
		(2)その他利益剰余金	(45,232,871)
		任意積立金	50,000,000
		繰越利益剰余金	△ 4,767,129
		Ⅱ 評価・換算差額等	(0)
Ⅲ 繰延資産	(988,636)		
クラウドライセンス費用	988,636	Ⅲ 新株予約権	(0)
		純資産の部合計	55,332,871
資産の部合計	160,518,336	負債・純資産の部合計	160,518,336

損益計算書

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

商号　㈱河北町べに花の里振興公社

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 売上高			
受託金	238,273,000		
利用料収入	162,561,327		
売上高	161,831,239	562,665,566	562,665,566
Ⅱ 売上原価			
期首棚卸高		3,119,998	
仕入高	72,412,522		
外注仕入高	622,238	73,034,760	
合計		76,154,758	
期末棚卸高		2,614,979	73,539,779
売上総利益			489,125,787
Ⅲ 販売費及び一般管理費			
販売費及び一般管理費		507,017,505	507,017,505
営業損失			17,891,718
Ⅳ 営業外収益			
受取利息		342,842	
雑収入		18,590,092	18,932,934
Ⅴ 営業外費用			
支払利息		272,130	272,130
経常利益			769,086
Ⅵ 特別利益			
特別利益		0	0
Ⅶ 特別損失			
固定資産除却損		18,707	18,707
税引前当期純利益			750,379
法人税、住民税及び事業税		194,495	194,495
当期純利益			555,884

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

（単位：円）

科目	金額
給料手当	128,623,998
賃金	80,769,006
旅費交通費	179,580
広告宣伝費	2,678,378
印刷費	804,107
会議費	48,949
負担金	415,617
研修費	1,135,986
新聞図書費	274,800
役員報酬	3,430,000
法定福利費	32,138,059
福利厚生費	8,002,026
減価償却費	4,298,493
使用料及び賃借料	11,125,501
修繕費	2,578,991
管理修繕費	342,420
通信費	3,363,392
水道光熱費	110,123,854
租税公課	25,852,023
寄付金	21,485
接待交際費	633,324
損害保険料	754,300
消耗品費	14,291,702
支払手数料	2,089,316
車両用費	1,534,387
委託料	71,128,872
雑費	378,939
合計	507,017,505

棚卸資産の計算内訳

令和 8年 3月31日現在

（単位：円）

科目	金額
商品	2,614,979
貯蔵品	2,786,299
合計	5,401,278

株主資本等変動計算書

商号 ㈱河北町べに花の里振興公社

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

Ⅰ 株主資本			
1. 資本金			
	当期首残高		10,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		10,000,000
2. 利益剰余金			
(1)利益準備金			
	当期首残高		100,000
	当期変動額		0
	当期末残高		100,000
(2)その他利益剰余金			
任意積立金			
	当期首残高		50,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		50,000,000
繰越利益剰余金			
	当期首残高		-5,323,013
	当期変動額		
	当期純利益	555,884	555,884
	当期末残高		-4,767,129
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		44,676,987
	当期変動額		
	当期純利益	555,884	555,884
	当期末残高		45,232,871
株主資本合計			
	当期首残高		54,776,987
	当期変動額		
	当期純利益	555,884	555,884
	当期末残高		55,332,871
Ⅱ 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
Ⅲ 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純資産の部合計			
	当期首残高		54,776,987
	当期変動額		
	当期純利益	555,884	555,884
	当期末残高		55,332,871

商号　㈱河北町べに花の里振興公社

個別注記表

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

Ⅰ．この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

Ⅱ．重要な会計方針に係る事項に関する注記

1．固定資産の減価償却方法
(1)有形固定資産
定率法又は旧定率法を採用しております。
ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

2．消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

Ⅲ．貸借対照表等に関する注記

1．有形固定資産の減価償却累計額　29,348,317円

Ⅳ．株主資本等変動計算書に関する注記

1．発行済株式総数　200株

Ⅴ．一株当たり情報に関する注記

1．一株当たり純資産額は、276,664.35円であります。

2．一株当たり当期純利益は、2,779.42円であります。

以　上

株式会社河北町べに花の里振興公社

代表取締役　　河 内　耕 治　様

株式会社河北町べに花の里振興公社 第３１期決算監査報告書

令和８年５月１８日にべに花温泉ひなの湯において、株式会社河北町べに花の里振興公社の令和７年４月１日から令和８年３月３１日までの執行状況について、歳入・歳出の決算で会計諸帳簿及び預金通帳の関係書類と照合し決算監査した結果、相違なくかつ適正に執行されていることを報告いたします。

令和８年５月１８日

株式会社河北町べに花の里振興公社

監 査 役　真木邦弘 ㊞